

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p>
宇津木課長	<p>ただいまより平成29年度第2回入間市高齢者福祉審議会を開催いたします。開催に先立ちまして、春名会長よりご挨拶をお願いします。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。それでは、会議の進行につきましては、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長が会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に議長として今後の会議の進行をお願いいたします。</p>
春名会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は、9人です。澤田委員、大坂委員、松本委員、松下委員、森本委員、森委員より欠席との連絡がありましたので報告いたします。</p> <p>よって条例第8条第2項の規定に基づき、会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページ等で周知したところ、希望者はございませんでした。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、大島委員、宜しくをお願いいたします。</p> <p>本日議論いただく内容は3点でございます。1点目として「現行計画の進捗状況」、2点目として「計画の全体構成について」、3点目として「その他」となります。順次、事務局から説明をいただき、ご意見をいただくかたちで進めて行きたいと思っております。それでは1点目、「現行計画の進捗状況」の説明をお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	「現行計画の進捗状況」説明
春名会長	<p>皆様からのご意見をいただく前に、私から二点お話をさせていただきます。一つ目、第3章「2 地域支援事業の提供体制の整備」に「(3) 生活支援コーディネーターの配置」があります。進捗状況の中で「第1層生活支援コーディネーターを配置してある」と記載されておりますが、第1層がどういうものか説明をお願いいたします。二つ目に、第4章「3 社会参加の促進と支援」の「(2) ボランティア活動の促進」ということで「見守りボランティア制度」が開始されるとあります。5月23日に市民会館で登録希望者説明会が開催されますので、事務局から皆さんに説明をお願いいたします。</p>
下村主幹	<p>まず、第1層生活支援コーディネーターの第1層についてですが、これは入間市全域をみるコーディネーターということになります。もう一つ第2層というものがありますが、こちらは日常生活圏域ということになりますので9地区、包括支援センターの単位ごとになります。二つ目の「見守りボランティア」の事業につきましては、ボランティアの方の力を借りて、定期的な見守りゴミ出しを実施するものです。5月23日はボランティアの方の説明会となります。広報いるまに掲載しているように、興味のある方に集まっていただき説明をさせていただきます。</p>
春名会長	<p>ありがとうございました。それでは現行計画の進捗状況についてご質問等あれば挙手をお願いいたします。</p>
石黒委員	<p>介護予防、日常生活支援総合事業について質問です。これからの通所介護について今後入間市ではどういった考えで実施していくのかをお聞かせください。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>第1章「1生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進」の「(3)通所介護・訪問介護サービスの提供」ですが、当初は現行相当のみの訪問介護、通所介護で、今まで給付で行っていた要支援の方の事業をそのまま移行しスタートいたしました。昨年度中に訪問介護の緩和基準につきましては緩和基準と住民主体、通所介護につきましては住民主体の要綱等を整備して、平成29年4月より実施いたしました。今後、通所介護につきましては緩和基準を整備して実施していきたいと思います。訪問介護につきましては、シルバー人材センターを想定して事業の規則を定めておりますので、今後介護事業所、法人等の訪問介護の事業者には緩和基準の説明をし、今年度中に実施に向けて調整をしていきたいと思ひます。</p>
春名会長	<p>他にご意見、ご質問ありますでしょうか。</p>
原田委員	<p>市独自のサービスの事業についてですが、利用者の推移、進捗状況が具体的に示しているものがあれば、計画を策定する際に力を入れるところ、見直しを図るところなどの検討の一つになるので教えてください。</p>
岩田主幹	<p>現時点で手元にはデータはありません。ただ、ここ数年かけて審議いただいた市独自のサービス事業ですので、ある程度は整理させていただいております。高齢者の人口は増えておりますので、利用者も増えております。市として財政状況は大変厳しく、他の事業との兼ね合いで予算も削られている状況ですので事務局としても無駄がないように予算で過度な計上をしないよう実施していきたいと思ひます。今までの実績状況はありますので、次回利用者数はお伝えさせていただきます。</p>
原田委員	<p>市民に向けた福祉サービスの取り組みを、きちんと浸透させていく事</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>が大事になるかと思えます。そういった視点は市長の諮問の記述より少しは推測はできますが、足りないと思えます。行政との連携を図りながら、どうやってボランティア組織、市民を参加させて全体を動かし地域包括システムを構築していくかを含めた取り組み姿勢を、そして高齢者支援課として高齢者支援の立場でもう少し記述に盛り込んでほしいと思えます。</p> <p>事務局、何か進展があればよろしく願いいたします。他に何かあますか。ないようですので、次の議題に移ります。</p> <p>「計画の全体構成について」を議題といたします。まず、策定部会 状況について法師副会長より報告をお願いします。</p>
法師副会長	<p>第1回策定部会の報告</p>
春名会長	<p>策定部会の報告ありがとうございました。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>「計画の全体構成について」説明</p>
春名会長	<p>今期の計画（平成27年度から平成29年度）に付け加えた方がよい項目がありましたら、挙手をお願いいたします。他市との比較をして、こういったものも加えてほしいなどのご意見でもかまいません。</p>
川名委員	<p>私は長くこの計画に携わらせていただいておりますが、前は介護予防事業の枠が大きくありました。現在はやっていない訳ではなく、一つの項目に少しずつ入っていますが、健康な高齢者における介護予防という言葉がなくなっています。やはり元気で生活していただくには、介護予防</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	<p>という言葉を各論の中でも良いので項目を付けていただくことはできますか。</p> <p>委員の仰る通り、大見出し、中見出しからは外れていますが、地域包括ケアシステムの中には入っております。入っておりますが、以前は市全体で力を入れていた事業だと思います。</p>
川名委員	<p>重要な項目ですので、ぜひ加えていただきたいと思います。</p>
春名会長	<p>認知症予防、介護予防、健康づくりは、意識を持つことができるような表題であってほしいと思います。他に項目で漏れているものはありますでしょうか。私からですが、ボランティア活動の推進は社会参加でくられていますが、そういったものも打ち出しても良いのかなと思います。そういった考え方でも、身近にあるものをもっと前に出してほしい、表現してほしいという意見等はありませんか。</p>
坂本委員	<p>国の施策が変わったところに着目していくしかないと思います。</p>
春名会長	<p>資料No.2－5の5ページ、「イ 要介護者等の地域の実態把握」について、「(ウ) 地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析」とありますが、「見える化」とはどのようなものですか。</p>
岩田主幹	<p>「見える化」システムは、介護保険料の算定、今後の動向を見るために使用するシステムです。国が開発をしており以前からあったのですが、ほとんど活用されていない状況でした。現時点では使いこなせるかどうかという所です。今後、昨年のニーズ調査の調査結果の入力や今までの介護保険料の数値を入力していきます。介護保険料の数値は毎年入</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>力していけるのですが、ニーズ調査を毎年行い調査結果を入力するというのは現状できない状況のため、このシステムを使って、介護保険料の算定等の正確性が増すのか、新たなデータが取得できるのかなどは、これから近隣自治体等の動向を調査し反映できるかを確認していきたいと思っています。</p>
春名会長	<p>介護保険料の算定と事業量の算定とは違うシステムのものですか。</p>
岩田主幹	<p>「見える化」システムは、介護保険料の算定に使用いたします。 あくまで介護保険料のみです。</p>
春名会長	<p>将来の推計という点で従来と変わらない気がします。他、何かご意見ありますでしょうか。</p>
原田委員	<p>「見える化」システムは、マイナンバーとして連結して、トータル的に密接な施策をすることも考えられますか。</p>
岩田主幹	<p>マイナンバーとのリンクはありません。あくまでも動向調査で、どういう推計で平成 37 年度までいくかという事がわかるもので、具体的にどのような形で計画に使えるかは不明なところもあります。これから確認していかなければなりません。</p> <p>「見える化」システムですが、介護予防日常生活圏域ニーズ調査のデータを入れて現状分析をしたり、国の方からデータ等がきて将来推計を計算し、それらを反映させるものになっていますが、まだ市の方でシステム等利用しておりません。今後国から県を通してシステム、データが送られてくる事になっています。その後、将来推計の中のサービス量の見込み値を計算するなど、介護保険料の料金改定に役立てる</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>システムとなっております。</p> <p>これは「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」報告書にある第3章の生活機能判定結果などはこういうシステムを利用して、いろいろ把握できるものですか。</p>
岩田主幹	<p>「見える化」システムは、これからシステムがくるので実際どこまできるのかは不明です。</p>
春名会長	<p>他にご質問等ありますでしょうか。もしなければ総論、各論を策定部会で検討しながら進展などをご提示しますので、その際にいろいろなご意見をいただき、まとめていけたらと思います。よろしくお願いいたします。次に、「その他」を議題といたします。事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。</p>
岩田主幹	<p>今後のスケジュールについて説明</p>
春名会長	<p>閉会のあいさつを法師副会長よりお願いいたします。</p>
法師副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p> <p>大変お疲れさまでした。</p> <p>～平成29年度第2回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成29年5月30日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>